

図書館だより

NO. 78 2004年 8月号
(2004年8月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

夏休みが始まって、図書館は大忙しです。朝早くから子供たちの元気な声が聞こえてきます。学校の宿題もそろそろ気になり始めた頃でしょうか？市民図書館では課題図書を3冊ずつそろえています。場所はカウンター近くのひとり用視聴用フースの一番右の棚です。夏休み前からかなり貸出されていますが…。

そして、カウンターでも問い合わせの多いのが「調べ学習」や「自由研究」に関する本です。図書館にはいろんな分野の調べるための本があります。しかし、テーマが重なるとその分野の本は全部貸出中、なんてこともあります。また、調べ物をどのようにしたらいいのか？という人には、「第7回図書館を使った”調べる”学習賞コンクール入賞作品の複製展示がとても参考になります。夏休み後半の24日から29日まで展示していますので、参考にしてみてください。

今月の展示

一般書

・丸木家の人々と平和

7月31日からはつかいち美術ギャラリーで、「丸木家の人々と平和」というテーマで丸木家の人々の作品・原画など展示会が行われています。丸木家の人々の作品は図書館にも所蔵しています。この機会にどうぞ。

・「第7回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール入賞作品の複製展示 中央通路

8月24日から29日まで、全国で応募された中から選ばれた、優秀な作品の複製を展示します。貸出はできませんが、とても参考になりますよ。

・この本おもしろいよ～夏休みに読んでみたい本～

7月に展示した本をそのまま児童書の棚に並べています。リストもあり。

・さくらびあ物語の本 ーお笑いー

～展示コーナー～

お笑いタレントになるには？などお笑いについての本を集めてみました。

児童書

・こわーいお話

～こどもの本の展示コーナー～

おばけなんて大嫌いだけど、こわい話はみんな大好き！楽しいおばけの話や、背中がぞくぞくとする話など夏にぴったりのこわい本を用意しました。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

『野外読本』

羽根田 治 著 山と溪谷社 481.9/ハ
野山や川・海で活動する人たちに知っておいてほしい「危険な生物」を紹介。それらの生物がどのような被害を与えるのか、実例情報と予防、症状、応急処置などを各生物ごとに解説。生物の特徴や習性、現在医療情報なども掲載されています。

『お茶漬けの味100』

松田 美智子 著 河出書房新社 596.3/マ
身近にあって、奥深い。こんなに美味で手軽な伝統食を楽しまなくてはもったいない！ベーシックなものから季節の素材をふんだんに使ったアイデア茶漬けまで松田流お茶漬け100レシピを紹介。

『好かれる声になるボイストレーニング』

熊谷 卓 著 河出書房新社 809.2/ク
なぜか仕事ができる、なぜかモテる、なぜか注目される…。そんな人たちの共通点は、実は「魅力的な声」だった。1日5分、簡単なトレーニングで魅力的な声を手に入れる方法を紹介する。

『タイムカプセル』

生田 紗代 著 河出書房新社 F/1
就職活動で面接60回敗退の従妹・桐ちゃんは、私の一年後の姿。未来から逃れるような大学生活のなかで、偶然出会った「親友の弟」がなんだか気になって…。

調べるための本

その6. 物と事から調べる本 3 専門事典32 詩歌

専門事典には、特定の分野の知識を百科事典のように編集したものと、専門用語に簡潔な解説をしている専門用語集のようなものがあります。そこで、市民図書館にある専門事典を分野ごとに紹介してみます。今回は詩歌についての本を紹介します。

- ・ **歌ことば歌枕大辞典** 久保田 淳・馬場あきこ 編 角川書店 R911.1/ク
和歌に使われた約2900語を精選し、用例を使いながら言葉の意味と役割、表現の実際を解説してあります。古代から人々の心の中に根付いている歌ことば、歌枕がわかる辞典です。
- ・ **新編国歌大観 第1～10巻** 新編国歌大観編集委員会 編
角川書店 R911.1/シ
古歌の検索を目的として編まれた「国歌大観」は、10巻20冊の本で、歌集部と索引部に分かれていて、和歌の句から和歌の全文、作者を調べることができます。
- ・ **万葉ことば事典** 青木 生子・橋本 達雄 監修 大和書房 R911.1/マ
万葉集と古代歌謡を彩る「ことば」の意味を、歌の表現に即してわかりやすく解説されている事典です。古代歌謡を読み解く上で重要な「ことば」を894語選び出して説明してあります。

「なつのいちにち」

はた こうしろう/作
偕成社 E/A

暑い夏の日、ぼくはひとりで網を持ってでかける。「きょうはぜったいつかまえる」海辺を走り、田んぼをつきぬけ、お宮の石段を駆け上がる。待ってろよ、クワガタムシ。夏の日を力強く、さわやかに描いた絵本。

「土の中からでてきたよ」

小川 忠博/写真と文 平凡社 210/オ
土の中から出てきたえんとつ頭や人形の顔、縄の文様をつけた土器。日本各地の縄文遺跡からは愉快なものがたくさん見つかります。自然の中で生き抜いた縄文時代の人々の暮らしが生き生きと見えてくる写真絵本。

「レモン・ドロップス」

石井 睦美/著 講談社 913/I
大沢美希は中学3年生。これと言った悩みはないけれど、思春期真っ只中。駄菓子屋で買ったレモンドロップスをなめながら、親友のこと、姉や祖母のことを思いめぐらす。美希の目を通して思春期の「こころ」を瑞々しく描く。

「ジェフィのパーティー」

ジーン・シオン/ぶん E/ク
マーガレット・フロイ・クレム/え
わたなべ しげお/やく 新風舎

仮装パーティーを開く事にしたジェフィは、友達に招待状を送りました。これまで仮装パーティーに行った事のないみんなは「なんにぼけていこう」かあれこれ考えました。待ちに待ったパーティーの日、素晴らしい行列がジェフィの家へやってきました。

「あそびのレシビ」

鈴木 洋子/著 柴原 のりこ/写真
村山 純子/構成 福音館書店 750/S
風鈴やラッパ、万華鏡など思ったより簡単にできます。小枝や空き缶、牛乳パックなど身近な材料を使って作った遊びも満載何か作りたいけど作るものがわからない…そんな人にこの本はぴったりです。

「イップとヤネケ」

アニー・M.G.シュミット/作 西村 由美 訳
フィーブ・ウェステンドルフ/絵 949/シ
岩波書店
お隣り同士の二人は、毎日お互いの家を行き来して遊びます。お話と絵がしっかり結びつき、世代を越えてオランダの人たちに愛されている物語。

- 『広島お好み焼物語』 那須正幹 著 PHP 研究所 383/ナ
- 『親子でひらく科学のとびら—新しい理科の教科書 小学3年』
左巻健男・野村治 編著 (株)文一総合出版 400/ア
- 『つる姫』 阿久根治子 作 瀬川康男 画 福音館書店 913/ア
- 『夜明けの風』 ローズマリー・サクリフ 作 灰島かり 訳 ほるぷ出版 933/サ

数字でみる図書館

市民図書館の本の中で、どの分野の本がよく読まれているのでしょうか？そこで、昨年度(平成15年度)の貸出冊数を分類別に見てみました。

分類別貸出実績(平成15年度)

| 利用の多い順 | 貸出総数 | 590,488点 |
|--------|------|----------|
| 第1位 | 9 文学 | 206,825冊 |
| 第2位 | 絵本 | 96,231冊 |
| 第3位 | 5 工学 | 53,673冊 |
| 第4位 | 7 芸術 | 40,768冊 |
| 第5位 | 視聴覚 | 35,686点 |

予想どおり「文学」つまり小説やエッセイが多く利用されていました。「工学」の中には、建築・インテリア・手芸・料理として、通信・インターネットが良く出ています。「芸術」の中には、スポーツ・釣り・アウトドア・将棋・生け花・ダンスなども含まれます。そしてなんととっても人気のあるのが「視聴覚資料」です。一人2点しか貸出できないのに、この回転数。大人気です。

図書館からのお知らせ

<人形劇は秋に変更になりました>

夏の図書館行事といえば、「人形劇」。毎回往復はがきで募集して、3～4倍の倍率となる大人気です。今年は、秋の読書週間の近くで開催することに変更しました！そこで、少しだけ予告します。

「人形劇」(タイトル未定)

日時 10月23日(土)

場所 さくらびあ小ホール

募集など詳しい内容については、市広報、図書館だより、ホームページなどでお知らせします。しばらくお待ちください。

利用案内

開館時間 10:00～18:00

貸出冊数 図書 2週間 5冊
視聴覚資料 2週間 2点

休館日 月曜日(祝日のときは翌日)
毎月月末日(その日が土・日・月のときはその翌日)

返却ポスト 1. 正面玄関向かって左
2. 図書館裏駐車場右